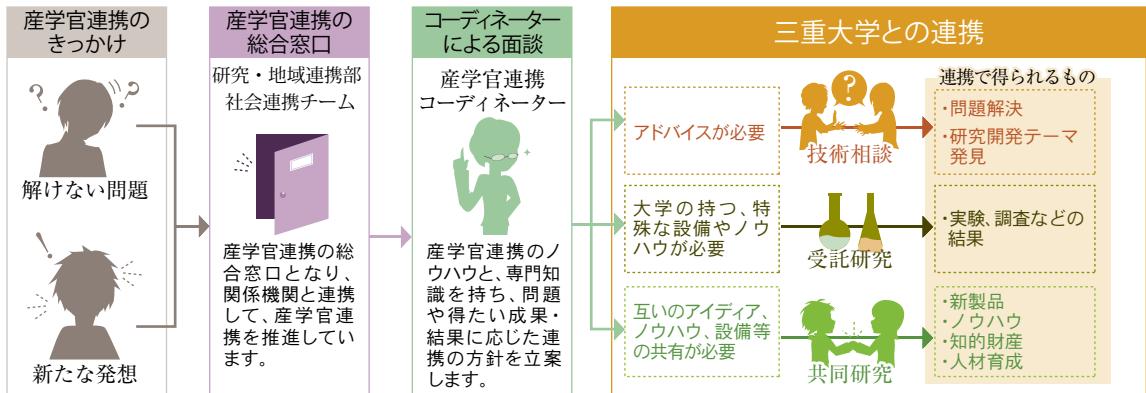


本学の利用方法 産学官連携を進めるために

三重大学との産学官連携による研究開発の基本的な流れ



三重大学との産学官連携による共同研究の実施体制

Case1 既設講座の研究者との共同研究



共同研究

企業・自治体

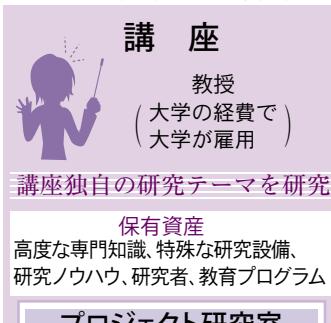
保有資産
生産設備、研究者、資金



成果の内容

- ・特許などの知的財産の獲得
- ・研究能力を持った人材の育成

Case2 既設講座内の専属の研究者との共同研究



プロジェクト研究室

- ・企業等が希望する課題について研究
- ・専属の研究者を配置
- ・研究室の運営費用は企業等が負担

共同研究

企業・自治体

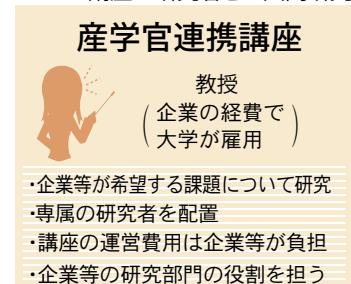
保有資產
生産設備、研究者、資金



成果の内容

- ・企業等の希望に特化した費用対効果が高い共同研究の実行
- ・特許などの知的財産の獲得
- ・研究能力・管理能力を持った人材の育成

Case3 産学官連携の為に新設した講座の研究者との共同研究



保有資産

高度な専門知識、特殊な研究設備、研究ノウハウ、研究者、教育プログラム



共同研究

企業・自治体

保有資產
生産設備、研究者、資金



成果の内容

- ・企業等の希望に特化した費用対効果が高い共同研究の実行
- ・特許などの知的財産の獲得
- ・研究能力、管理能力を持った人材の育成
- ・拠点設置による継続的な研究の実施